

# 北海道浮魚ニュース

平成 12 (2000) 年度 20 号 (通巻 No.90 )

2000 年 10 月 2 日

北海道立中央水産試験場	Tel :0135-23-8707	Fax :0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel :0154-23-6221	Fax :0154-23-6225
函館水産試験場	Tel :0138-57-5998	Fax :0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel :0162-32-7177	Fax :0162-32-7171
網走水産試験場	Tel :0152-43-4591	Fax :0152-43-4593

## 道東太平洋サンマ南下期調査結果

北辰丸 ( 釧路水産試験場調査船 ) によって行われたサンマ南下期調査の結果をお知らせします。

調査期間 : 2000 年 9 月 19 日 ~ 27 日

調査海域 ( 図 1 ) : 道東太平洋 ( 北緯 40 度 ~ 42 度 50 分、東経 144 度 ~ 147 度 )

### 昨年と比べ表面水温は低く、サンマの南下は早い

表面水温 ( 表 1 )

調査海域の表面水温は 16.9 ~ 23.2 で、昨年よりも約 1 ~ 3 低くなっていました。

漁獲尾数 ( 表 1 )

流し網を用いた漁獲試験の結果、608 尾のサンマが漁獲されました。調査 1 回流し網 1 反あたり漁獲尾数は 6.2 尾で、前年 ( 0.2 尾 ) や 1998 年 ( 0.2 尾 ) を上回ったものの、1997 年 ( 23.0 尾 ) には及びませんでした。

体長組成 ( 図 2 )

漁獲されたサンマの体長範囲は 18 ~ 35 cm でした。どの調査点でも大型のサンマが中心に漁獲され、全体の約 50% が特大魚 ( 32cm 以上 ) でした。

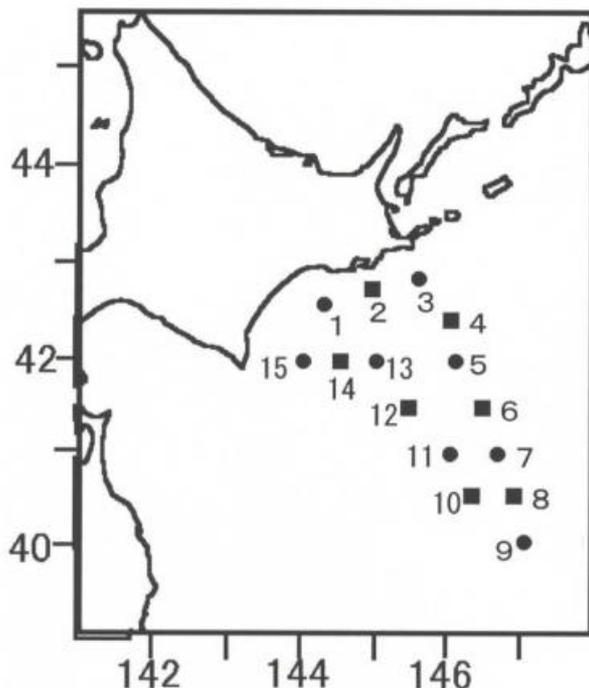


図 1 調査海域と調査点

● : 漁獲調査と海洋観測、■ : 海洋観測

( St.13 は荒天のため海洋観測のみ実施 )

昨年同時期に行った同調査では、サンマはほとんど漁獲 ( 19 尾 ) されませんでした。今年度は昨年と比べ表面水温が低いため、サンマの南下時期が早まったようです。

サンマの多くは沿岸域 ( St. 1, 3, 15 ) で漁獲され、沖合域 ( St. 5, 7, 9, 11 ) では少なかったことから、現時点ではサンマは沿岸沿いに南下しており、沖合まで分布域を拡げていないものと思われます。

今回の調査結果を含めた各機関の資料を基にして、10月初旬に東北区水産研究所を中心に「北西太平洋サンマ長期漁海況予報 漁期前半の経過と後半の見通し」が発表される予定です。

表1 サンマ南下期調査結果

S T	調査日	位置		水温(°C)			サンマ漁獲尾数					合計
		北緯	東経	0m	50m	100m	22㍍	25㍍	29㍍	37㍍	48㍍	
1	9.20	42-35	144-18	18.4	10.6	3.7	1	1	22	64	22	110
2	9.20	42-45	145-00	17.3	4.2	3.2						
3	9.21	42-50	145-40	18.3	3.5	2.2	0	3	68	103	90	264
4	9.21	42-25	146-00	18.9	2.4	1.9						
5	9.22	42-00	146-05	20.1	2.4	2.1	0	0	0	17	2	19
6	9.22	41-30	146-30	18.6	5.9	5.1						
7	9.23	41-00	146-40	19.9	9.9	7.4	0	0	0	8	1	9
8	9.23	40-30	146-50	16.9	7.1	2.4						
9	9.24	40-00	147-00	23.2	14.1	10.8	0	0	0	0	0	0
10	9.24	40-30	146-20	20.2	13.0	9.0						
11	9.25	41-00	146-00	20.2	11.8	8.8	0	0	0	3	1	4
12	9.25	41-30	145-30	17.9	3.1	1.4						
13	9.26	42-00	145-00	17.6	2.6	3.2	-	-	-	-	-	-
14	9.26	42-00	144-30	17.5	3.9	2.2						
15	9.27	42-00	144-00	17.1	6.5	3.5	0	0	17	124	61	202
合計							1	4	107	319	177	608

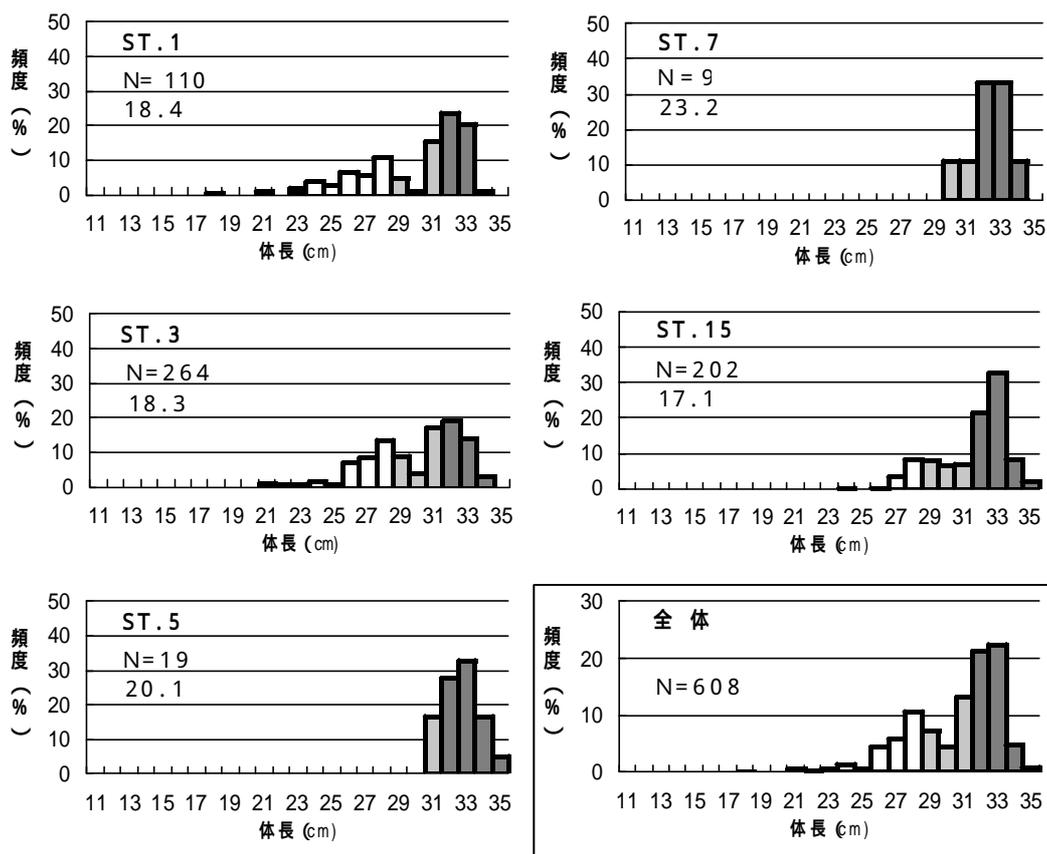


図2 流し網によって漁獲されたサンマの体長組成  
(Nは漁獲尾数、下段は表面水温)